

競技規則の一部改定

平成30年6月22日

日本ミニテニス協会

項 番	改 定 前	改 定 後
第12条 レシーバーの失ポイント 【解説】 1	レシーブの位置を間違えてレシーブしたときは、レシーバー側の失ポイントとなるが、審判も相手側も気付かないまま、次のサービスに移行してしまったときは、ポイントは有効となる。ただし、次のサービスを行うまでの間に気付いたときは、レシーバー側のアウトとなる。	レシーブの位置を間違えてレシーブしたとき、 または、誤ってサーブをしたときは 、レシーバー側の失ポイントとなるが、審判も相手側も気付かないまま、次のサービスに移行してしまったときは、ポイントは有効となる。ただし、次のサービスを行うまでの間に気付いたときは、レシーバー側のアウトとなる。
第18条 その他上記条項にない取り決め事項 【解説】 5	いずれかのチームが5点になっているときは、タイムオーバーになっても得点は両チームともそのままである。	いずれかのチームが5点になっているとき、 タイムオーバーになったら両チームに1点ずつ加点しゲーム終了とする。
◇新特別促進ルール◇ 〔第1ゲーム・第2ゲームの場合〕	(3) 5対3でタイムオーバーになったときは、得点はそのままで、次のサーブも同位置(右サイド)から、Aが行う。	(3) 5対3でタイムオーバーになったときは、 両チームに1点ずつを加点し、6対4でゲーム終了とする。
〔ファイナルゲームの場合〕	(3) 3対5でタイムオーバーになったときは、得点はそのままで反対側のCがサーブを行う。	(3) 3対5でタイムオーバーになったときは、 両チームに1点ずつを加点し4対6でゲーム終了とする。
	(4) 決着がつくまで、A又はCがサーブを行うことになる。	削除
以降の番号繰り上げ		
審判員の主な任務 1. 主審	(3) 副審の「タイムオーバー」の宣告を受け、直ちに「タイムオーバー」と声を発し、プレーを停止する。	削除
以降の番号繰り上げ		

《審判員の守備範囲》

番号	内容	主審	副審	線審
30	ゲームが終わり、チェンジコート及びゲームセットの宣告	○	X	X

31番追加

番号	内容	主審	副審	線審
30	ゲームが終わり、チェンジコート及びゲームセットの宣告	○	X	X
31	ラインクロスジャッジ	○	○	○